

患者さんが日常の生活を行うための看護活動

入院から退院までチームでアプローチしながら、患者さんひとり一人の生活や ADL 向上を考えながら援助しています。例えば、トイレでの排泄が出来るよう排尿日誌からオムツを外すプログラムを行ったり介護指導を行ったりと、患者さんの思いに添えるよう、家族と共に進め、自宅で充実した生活が送れるように努めています。

各カンファレンスの様子



入院時や回診には、MSW とセラピストも必ず同席し、個々の患者さんの ADL や状態の日々の変化の確認をベッドサイドで行い情報を共有しています。



定期的に評価会議を行い、各部門からの評価した情報を報告しあい、問題点や方向性に基づいて具体的なプログラムを進めて行きます。

セラピストのみではなく、看護師も病棟内訓練を患者さんへ行っています。



全職種が毎週集まり、合同カンファレンスを行っています。